

(機関名 : )

「研究大学強化促進事業」事後評価 実施状況報告書 (様式2)

機関名				
統括責任者	役職	実施責任者	部署名・役職	
	氏名		氏名	

1. 中間評価及びフォローアップについて

中間評価結果			
評点区分	全体に対する所見		
	当初構想・計画の進捗状況に対する所見		今後5年間の将来構想に対する所見
フォローアップ結果			
平成30年度		令和2年度	
令和元年度		令和3年度	

2. 中間評価後の進捗状況について

※1 構想に当たり最大2ページまででご記載ください。

<b>【中間評価時】</b> ※将来構想ごとに記載してください。また将来構想が4つ以上の機関については適宜追加してください。	<b>【令和3年度までの実績／進捗状況／変更点等】</b> ※別途ロジックツリーを作成してください。 ※各年度に指摘された事項に対する対応状況が可能な限り明確になるように記載してください。
<b>【将来構想1】</b>	
<b>【将来構想2】</b>	
<b>【将来構想3】</b>	
<b>【将来構想4】</b>	

### 3. 特記事項（任意・自由記述）について

※最大3ページまででご記載ください。

#### 【特記すべき事項】

※1～2以外に各機関の現況、理念に基づく特徴を活かした取組等（自律的・戦略的な研究マネジメント（研究資金獲得、プロジェクト企画・管理、知財管理、設備共用など）のための全学的な組織の編成など自機関の集中的な研究環境改革として特に実績の高い取組、他機関への展開等が期待できる取組とその結果など）について、特記すべき事項があれば記入してください。

#### 【挑戦的であった取組】

※挑戦的であったため十分な成果（効果）が得られなかった取組がある場合は、①概要（挑戦性の高さに関する言及は必須）、②成果が得られなかった要因（課題）、③課題への対応状況について【挑戦的であった取組】について記入してください。

#### 【URAの配置による効果】

※URAの配置によって研究力強化が図られた事例（客観的なデータを示せるものに限る）がある場合には、その概要を記入し、データ（様式任意）を添付してください。

(機関名 : )

4. URA等の自主財源化計画									
財源	経費種別	実績値					計画値		当初計画値 <sup>※2</sup>
		2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31/R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2023 (R5)
研究大学 強化促進 費補助金	人件費計								
	URA	人数 (a) <sup>※1</sup>							
		人件費							
	URA 以外	人数							
		人件費							
自主財源 等	URA	人数 (b)							
		うち、既存 ポストへの配置数							
		人件費							
	2017 (H29) 年時点から増加した年間 URA 人件費								
	URA 数 (a) + (b)								
特記事項									

実績値は、原則当該年度の通年での雇用者数（当該年度3月31日までの延べ人数）を記載。

※2023 (R5) 年度計画値の U R A 数が 2018 (H30) 年度当初に設定した計画値より大幅な変動（20%以上）がある場合は、その理由を以下に簡潔に記載。

(参考) 中間評価時の進捗状況について	
【応募時】	【平成 28 年度までの実績／進捗状況／変更点等】
1. 「実現構想の推進体制」の進捗状況について ※実現構想「3. 実現構想の推進体制」の内容を転記	
2. 「研究力強化の方針」の進捗状況について ※実現構想「4. これまでの取組状況と、研究活動の状況分析を踏まえた研究力強化の方針」の内容を転記	
3. 「研究力強化の方針に基づき取り組む制度改革等」の進捗状況について ※実現構想「5. 研究力強化の方針に基づき取り組む制度改革等」の内容を転記	